第二体制

姫路港、八木港、相生港、赤穂港

区分：「津波第二体制」

「大津波警報・津波警報」発表時発出

在港各船は、乗組員の生命の安全確保を第一に考慮し次のとおり対応すること。

1 一般船舶

(1)速やかに荷役・作業を中止し、津波到達予定時刻等を考慮のうえ安全な海域へ避難すること。

(2)修繕中の船舶等は、係留の強化を行うなど保船に万全の措置をとること。

(3)小型船舶は、陸上避難又は安全な海域に避難すること。陸上避難する場合は、津波到達予想 時刻等を考慮の上、余裕のある範囲で係留強化、陸揚げ固縛等、流出防止措置をとること。

2 危険物船

直ちに荷役を中止し、速やかに港外の安全な海域へ避難すること。

区分：「解除」

「大津波警報、津波警報解除」発表時発出

港長等が港内の安全を確認した後、解除する。

入港する船舶は、港内の航行規制等の状況を把握し、安全に留意すること。

注1：上記勧告解除後においても、港長等は、状況に応じて、「航行自粛勧告」「航行制限」

「航泊禁止」の措置を講じることがあるので留意すること。

注2：措置内容における「一般船舶」とは、危険物船以外の船舶をいい、「小型船舶」とはプレジャーボート、漁船等のうち、港内において陸揚げできる程度の大きさの船舶をいう。「危険物船」とは港 則法に基づく危険物積載船舶をいう。

注3：「陸上避難」とは乗組員等が陸上の高い場所に避難することをいう。